

修正土地利用計画案再点検の視点

**【現行の計画案の課題】**

- ◇コンセプト「ウェルネス」の具現化
- ◇シンボル道路による地区の分断を解消
- ◇ニュータウン型の単一的な土地利用計画の見直し  
(ランドスケープ的視点の導入)
- ◇道路ネットワークの強化
- ◇業務・研究機能の強化
- ◇周辺地区の土地利用との連携
- ◇新しいまち技術革新への対応
- ◇防災拠点としてのまちが備えるべき機能の検討

▶ 未来のまちづくりの姿が見えてくる

修正土地利用計画案の再点検

- ◎基盤整備とまちづくり（施設立地と機能誘導）の一体化
- ◎未来志向のまちづくり
- ◎藤沢市側の土地利用との一体性に配慮
- ◇交通ボリュームの大幅な変更は避けたい

**【深沢地区への期待】**

- 県内他地区との連携・鎌倉湘南複合圏へ波及  
(国・県の施策との連携・一体化)
- 全市的な防災拠点の確立
- 新しいライフスタイルの創出
- 新しい社会システムの提案
- 深沢は鎌倉の元気の源、働くまちの実現
- 周辺地域を牽引するエンジンの役割
- イノベーションとまちづくりの力で地域課題を解決
- SDGs未来都市の実現

▶ 全市への波及・持続的な都市経営

再点検の視点（イメージ）

《道路機能・配置の見直し》

- ウォークラブルなまちづくりの実現
- シンボル道路＝公共交通優先・歩行者に開放（トランジットモール化）

- ・道路による分断を解消
- ・外周道路からのサービス

《回遊性の確保》

例) グランモールの空間

《業務・研究開発系用地のボリュームの見直し》

- 量の拡大・質の充実
- 周辺地域への拡大

公共街区 (PPP)  
ミックスユース

《周辺土地利用との連携》(大規模用地)

- ・土地利用の高度化・機能集積を促進
- ・計画的な土地利用を誘導  
(産業系土地利用の活性化)